



## 人員削減と人件費の削減

クロダイインターナショナルコンサルティング

黒田 毅

人件費の大幅削減は、人員削減を再効率化した企業システムの構築において、企業の健全性という高い利益性を確立する。これらは製品とサービスコストのカットを行い、グローバル基準における製品と価格において、企業経営の健全性を確立できるので有る。

これらは自動化と IT 化とインダストリー 4.0 という基準における企業と生産の転換を考慮すべきであり、これら新しいコスト基準は世界基準で有ると判断は正しいので有る。

これらは企業体質と既存の常識の完全な転換であり、これらはすでに既存の現実として世界において存在するのであり、将来における新しい基準で有ることは必ず正しいので有る。

これらは自由貿易システムという新しいグローバル環境において必ず企業へ要求される現実で有る。これらは革命的变化が企業社会において存在するという真実なので有る。

これらは、キーワードは企業のシステムかという現実であり、これらは最も優れたシステムの構築が高い効率性と世界基準における企業環境を可能とできるので有る。

これらはグローバル市場における新しい現実が存在し、これらは資本力と MBA システムにおいて、大幅な既存環境からの向上を有するので有る。これら基準における企業転換は未来という現実への参加において避けられないので有る。

これら企業転換は永続する企業プレゼンスを可能とできるので有る。これらは世界の先端企業における基準で有ることは真実で有ると考える。そのためこれら企業基準における企業転換は、企業が利益体として、その自己環境の適正化を行うことなので有る。

これらは、IoT 革命から始まり、インフレという新しい現実を有するグローバルビジネス環境は明らかに激変しているので有る。そのため企業の生命線であり利益の健全性という新しい企業の優先事項が存在するので有る。これらは、競争原理を有し、新しい厳しい企業環境は、利益の確保と生き残りという企業の要求を現実において、その必要性として求められるからなので有る。